

リナクロチドの有効性に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年12月11日 ～ 2020年3月31日

〔研究課題〕 慢性便秘症及び便秘型過敏性腸症候群におけるリナクロチドの有効性と副作用について

〔研究目的〕 リナクロチドは便秘型過敏性腸症候群及び慢性便秘症に高い効果を有する新しい薬剤ですが、副作用として下痢などの消化器症状が出る場合があります。しかし現時点では前もって本薬剤が有効かどうかや副作用がでるかどうかについて知る方法はありません。本研究はリナクロチドを投与された患者さんの医療記録から有効性と副作用を調査し、背景因子や併用薬との関連を明らかにするためにを行います。

〔研究意義〕 リナクロチドの有効性や副作用と関連する要因がわかることによって、より安全かつ有効に本薬剤を使用することができるようになります。

〔対象・研究方法〕 医療記録（カルテ）から、2017年4月から2018年8月にリナクロチドを処方された患者さんの背景や有効性、副作用を調べ、統計学的手法によって特徴を明らかにします。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

〔個人情報の取り扱い〕 個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 助教 青柳 仁
研究分担者：帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 講師 阿部 浩一郎
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表） [内線 7651]
aoyagi@med.teikyo-u.ac.jp